

## 館長よりご挨拶

大阪市立科学館長 吉岡 克己

昨年度は、2025大阪・関西万博の開催にあわせ、これまでになく多くの国々から博物館、科学館などの関係のみなさまを大阪市立科学館にお迎えしました。海外に出かける機会が限られる中、大阪にいながら多くの交流の機会が得られたことは地元開催の万博ならではの貴重な体験でした。

また、万博終了後には各国パビリオンからの資料寄贈も受け、当館の展示の幅をさらに広げることができました。メールやオンラインだけでなく対面での「交流」の重要性を改めて実感した一年でした。



当館ではこれまでも、海外に限らず様々な機関との「交流」と「連携」を進めてきました。これは、学芸員の専門分野にとらわれず幅広い科学テーマを取り上げ、ご来館のみなさまの多様な関心に応えるためです。その取り組みの一つとして整備したのが、展示場1階の「みんなのサイエンス・ラボ」です。ここでは企画展やワークショップなどを開催し、お客様同士、そしてお客様とスタッフとの「交流」と「対話」が生まれる場としての一層の充実を考えています。人を中心とした対面での交流は一期一会です。これにより、来るたびに新たな「発見」や「学び」を得られる…そんな常設展示場を目指して参ります。

私は、充実した連携の推進には、連携先と当館の双方にメリットのある関係を築くことが重要であり、これが持続的な事業発展につながるものと考えています。今年度もすでに、他の博物館や研究機関、大学などと密に連携した企画が進行中です。順次公開していきますので、ホームページやSNSを楽しみにチェックしてください。

様々なみなさまとの「交流」と「対話」と「連携」により、大阪市立科学館がご来館のみなさまだけでなく、私たち自身にとっても「発見」と「学び」の舞台となるよう、今年度も本物と人間を中心に据えた活動を意識して、スタッフとともに微力を尽くして参ります。